広島県立三原高等学校同窓会 会報　第５号　　令和３年（2021年）２月26日発行

同窓会だより

校 訓
敬心愛知（けいしんあいち）
堅志力行（けんしりょっこう）

広島県立三原高等学校第 72 回卒業生を，同窓会新会員として迎えました。

ご卒業おめでとうございます

同窓会 会長
戸野法史（23回生）

紅や白の梅が咲く季節のなか，皆さんは今日三原高校を卒業されました。この佳き日に『ご卒業おめでとうございます』という餞の言葉を贈ることができることを大変嬉しく思っています。また，卒業生の皆様を三原高校同窓会72回生として新に本会にお迎えできることを嬉しく思っています。

皆さんが３年生に進級されたときは，新型コロナウイルス感染症の第一波の始期にあたっていました。新型コロナウイルスの感染拡大によって，人と人とのコミュニケーション活動が分断され，また多くのイベントや文化的な活動を縮小されてしまいました。当然だと思っていた学校で友と共に学ぶことができなくなり，家庭でしかも一人での学習へと変わりました。また，様々な学校行事やクラブ活動も自粛しなければなりませんでした。三年間の高校生活の集大成として，重ねてきた努力の多くが一瞬にして消え去り，その怒りをどこにも向けることができない理不尽さを経験されたことと思っています。

その反面，新型コロナウイルスの蔓延によって，企業ではネットワークを活用したテレワークを拡大したり，大学の授業でも対面型からタブレットなどのモバイル端末を活用した講義を導入するなど，学びや働き方のスタイルも大きく変わってしまいました。人や物が東京一極に集中する状況から，私たちの故郷三原により高い価値を見い出していこうとする地方創生の契機ともなりました。

コロナ禍におけるこのような急激な社会生活の変化は，一時的なものではなくこれからは当たり前の生活として定着していくことでしょう。しかし，どのような社会に変わろうとも，人と人との関係を密接に結んでいくという人間のもつ能力を大切にしなければならないことは不易の真理です。卒業される皆さんが，自らの価値観や倫理観に基づいて思考し，多くの人々と共に行動され，それぞれの夢や希望の実現に努めていただくことを願っています。

三原高校同窓会は同窓生相互の親睦や母校の発展のためばかりでなく，故郷三原の発展に貢献することが大きな役割だと考えています。卒業される皆様がこれから活躍される場所はそれぞれ異なっていたとしても，三原高校同窓会72回生として多くの同窓生の方々と結びついていることを『心に染（し）めて』，飛躍されますことを心から願っています。

お祝いのことば

同窓会 副会長
三次至和（28回生）

第72回卒業生の皆さん，卒業おめでとうございます。私は，皆さんが１年生の時に校長として三原高校に勤めていました。皆さんの入学式の式辞で「Think Globally.Act Locally.」という言葉を送りました。これはESD（持続可能な開発のための教育）の理念の中で述べられている言葉です。世界には，環境・貧困・人権・平和・開発といった様々な地球的規模の課題があります。地球上の全ての生命体が遠い未来までその営みを続けていくために，これらの課題を自らの問題としてとらえ，自分にできることを考え実践していこうという意味の言葉です。ICTの普及に加えコロナ禍でリモートワークが加速されています。どこにいてもICT機器一つで世界中とつながれます。ですから，今や「Act Locally.」だけでなく「Act Globally.」も可能なのです。そのような時代に活躍していく皆さん，三原高校での経験に加え，次のステップでさらに実践力を養い社会人・地球人として大きく羽ばたいて行ってください。皆さんの活躍を祈りながら，私自身もできることを精一杯やっていく人生にしていきたいと考えています。

活躍する同窓生の皆さん（自営業関係）

大 中 孝 広 さん（49回生）　「六文銭」

私は20数年前の春，弓道の袴姿にあこがれて三原高校に入学しました。卒業後は好きだった歴史を学ぶために史学部に進学し，大学でも弓道を続け全国大会にも出場することができました。今でも好きな弓道と歴史に没頭できるのは，良き仲間達と出会い共に切磋琢磨した弓道部での３年間があったからだと思っています。

20代の半ばに両親の営むお店を継ぐためにUターンしましたが，瀬戸の小魚や蛸などの特産を用いた料理を提供し，三原で居酒屋と言えば『六文銭』と言われるようなお店にしようと日々過ごしています。

三原高校を卒業し三原を一度離れたことで改めて故郷の良さや歴史の奥深さに気付くことができました。夜遅くまでお店を開けているので時間的な余裕も少ないのですが，10年前に故郷の歴史を愛する仲間とともに『三原二之丸会』を創り，三原で開催されるイベントなどに参加して，三原の歴史をアピールする活動に取り組んでいます。

卒業されるにあたり「私の故郷三原ってこんなにすてきな町なんですよ」と誇れるよう，今一度三原の歴史を振り返っていただければ嬉しく思います。

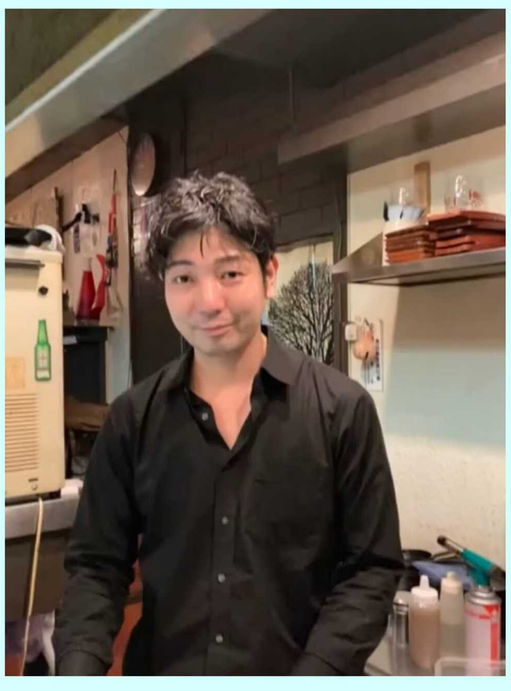
大泰司 聡 美 (旧姓　山 根) さん（50回生）　「PARADISO (パラディーゾ）」

私は，三原高校を卒業後，美術セットデザインを学ぶため，大阪芸術大学に進学。その後，東京の映像美術デザイン会社に就職し，CMの制作に携わりました。そして９年後，元々食に興味があり，ロサンゼルスのラーメンショップの立ち上げ・店長候補として渡米しました。

しかし，やはりARTに携わりたいという気持ちが強くなり帰国。その後はしまなみをイメージした絵を描き，アーティスト活動をしている最中，グラフィックデザイナーだった今の夫に出会って結婚、高根島で古民家カフェをオープンしました。そこで様々な音楽イベントやマルシェを企画・開催しました。

その後2019年10月に故郷・三原の祖父母が営んでいた喫茶店をリノベーションし，カフェをオープンしました。これからは，三原を拠点にMUSIC&ART&FOODをコンセプトに色々なARTワークショップや音楽イベント，マルシェなどを企画し，三原を盛り上げていこうと思っております！

安 楽　永 さん（54回生）　「Teppan Diner6」，「尾道ラーメン麺や一六」



私は高校卒業後，飲食店でバイトをしながら大学で経済学を学びました。そのバイト先の店長に悩みを相談する中で「人生は学歴だけじゃないから」という店長の言葉に何故か心を打たれました。それからは色々な啓発本を読み，卒業後は上京し，ベンチャー企業に就職し，社長の近くで経営学や時間の使い方，お金の運用方法を学びました。

その後，起業を一番に考えるようになり様々なセミナーに通い，27歳までに起業できるよう準備する中で，飲食業の道へ進むことを決意し，銀座の鉄板焼き屋に就職，鉄板の扱い方，肉の目利き，接客などを学びました。そして，広島に戻りお好み焼き屋で修業した後，2011年27歳で港町にお好み焼き屋「Teppan Diner6」を，2018年に「尾道ラーメン麺や一六」を開業しました。

現在は，「三原焼き振興会」会長として三原に多くの観光客が訪れていただけるよう日々奮闘中です。また，５年前に結婚し二人の子供にも恵まれました。大切なことは，変動する世の中でどれだけ人生を楽しみ笑えるかだと思います。

私は今，他の事業に取り組む準備もしつつ家族との時間を一番大事にしています。そして，多くの卒業生の皆様のように，地域貢献や社会貢献ができるようになりたいと思います。

関 西 支 部 か ら

卒業生の皆様

同窓会関西支部・支部長
田 中 道 裕（18回生）

皆様ご卒業おめでとうございます。いよいよ大人の仲間入りですね。本来なら「“前途洋々の明るい世界”で頑張って下さい」と言いたいところですが，今年はそうは言えそうにありません。トランプ政権時代に掘り起こされた世界共通の多くの問題点(格差，差別，分断など)は放置されたまま，さらに昨春突如出現した新型コロナウイルスのパンデミック(世界的大流行)は，未だ大混乱を起こして我々の日常生活に大きな影響を及ぼしています。“前途多難の旅立ち”と言った方が正確かも知れません。

本来なら昨年実行されていたはずの「三原高校創立100周年記念行事」の大半が，中止あるいは延期となり，さぞや無念の思いをされた事と思います。ワクチンや有効な医薬/治療方法が開発され，いずれ収束の方向に向かうと思われますが，今しばらくは“ウィズ・コロナ”の生活を迫られそうです。これからは時代の変化は加速され，より複雑化するでしょう。そんな環境の中で如何にうまく，強かに対応する体力/気力を養う事が益々各自に強いられる時代です。

こんな時代の“癒しの場”として，関西には《三原高校同窓会関西支部》があり，110数名の会員が両手を広げて関西に移住される予定の皆様のご入会を待っています。今度開設した当支部のホームページを検索して，尋ねて来て下さい。

今回皆様に贈る言葉は，米国の公民権運動の指導者で最後に凶弾で倒れたキング牧師の言葉。

《Even though we face the difficulties of today and tomorrow, I still have a dream》

「私たちには今日も明日も困難が待ち受けている。それでも私には夢がある。」

困難な時代，いつまでも夢を持って前に進んで下さい。ご健闘を祈ります！

関西支部ホームページが開設されました。URLは次のとおりです。
https://mihara-hsch-kansai.sakuraweb.com

母 校 の 後 輩 は 今

○ 器楽部

昨年11月8日（土）に校内コンサートを開催しました。

現在，３月28日（日）の第40回定期演奏会に向けて，練習に励んでいます。

※右の写真は練習風景です。中央の赤丸部分の楽器が，同窓会から寄贈したバスクラリネットです。

○ 野球部

昨年11月，しまなみ球場で開催された尾三地区１年生大会で，三原高校野球部が優勝しました。

この大会での戦績は次のとおりです。

１回戦　11月14日（土）　三原　5-15　尾道北

※ 尾道北高校は１年生の部員不足のため，２年生部員が多く出場しており，大会規定により，三原高校の勝ち上がりとなりました。

準決勝　11月21日（土）　三原　5-1　尾道

決　勝　11月22日（日）　三原　4-3　尾道商業

ICT 環境整備（創立100周年記念事業）

三原高校では，令和３年度入学生から一人一台のタブレット端末導入が予定されています。

同窓会では，導入される機器をより一層活用できる環境を整備するため，創立100周年記念事業として，次の機器を三原高校に寄付します。

１　教室用プロジェクター（固定式） 19台
２　体育館用プロジェクター（移動式） １台
３　教師用タブレット端末（iPad）40台
４　教師用ノートパソコン（MacBookPro）３台
５　プロジェクター用マグネットスクリーン　22台

今回の記念事業に対して，延べ 841 名の同窓生の方々から，寄付金をお寄せいただきました。誠にありがとうございました。

行　事　予　定

広島県立三原高等学校創立100周年関連事業
『三原高等学校器楽部　第40回　定期演奏会』

日時　令和３年３月28日（日）　開場　15時30分　開演　16時
会場　三原市芸術文化センター　ポポロ　ホール

『三原高等学校同窓会　令和３年度　総会』

日時　令和３年８月13日（金）　16時30分～
会場　（未定）
※今年度の当番幹事は末尾に 9 のつく，19・29・39・49・59回生が担当します。

『広島県立三原高等学校創立100周年記念式典』

日時　令和３年11月14日（日）
会場　三原市芸術文化センター　ポポロ　ホール
○ 式典　　10時～
○ 記念講演　11時～12時
講演者　広島銀行代表取締役会長　池田晃治さん（23回生）

『広島県立三原高等学校創立100周年記念式典』の協賛広告を募集します。

次号（令和３年８月13日発行予定）から，同窓会会報への掲載広告を募集します。

編集・発行：広島県立三原高等学校同窓会　〒723-0016　広島県三原市宮沖4-11-1　TEL 0848-62-2151（三原高校内）